

# 魚沼スキークラブNEWS

2020年12月 No.111

発行 魚沼スキークラブ事務局

e-mail [moco-t@ski.email.ne.jp](mailto:moco-t@ski.email.ne.jp)、[uonumaskiclub@yahoo.co.jp](mailto:uonumaskiclub@yahoo.co.jp)

Tel&Fax 025-792-1351 新潟県魚沼市井口新田 457-6 高橋方

HP アドレス <https://www.facebook.com/uonumaskiclub/>

魚沼スキークラブ掲示板 [http://6718.teacup.com/bg5\\_4seasons\\_legacy/bg5](http://6718.teacup.com/bg5_4seasons_legacy/bg5)

魚沼スキークラブで検索!!

## 「市民のスキー場を考える会」活動報告

署名活動やカンパの結果、その後の情勢など

魚沼市 高橋知子

**署名活動**「魚沼市スキー場の持続可能な運営を願う嘆願」の署名運動を展開した結果、18344名ものたくさんの方々からご賛同いただきました。大変ありがとうございました！

署名期間を過ぎてもなお署名が集まり、それらをまとめて、12月2日、魚沼市長（代理武藤産業経済部長）と遠藤市議会議長に署名簿と嘆願書を提出しました。ずしりと重い署名の束。18000を超える皆さまの思いは、本当にずしりと重く、これらが無駄にはできないと責任を感じました。

市当局もこの思いを受け止めて、来年4月からはスキー場に対する“無償譲渡のみ、財政支援は譲渡時のみ”という方針を見直してくれることを切望します。



魚沼市スキー場の持続可能な運営を願う嘆願署名

# 18,344名

署名数 16,782名 / デジタル賛同数 1,562名

魚沼市内を始め、市外からもたくさんの署名が集まりました！

ご協力本当にありがとうございます！

12月2日魚沼市長・魚沼市議会議長に

嘆願書と署名簿を提出しました。

今後の進捗状況など当会で発信してまいります。引き続きご支援・ご協力何卒宜しくお願いします！

市民のスキー場を考える会

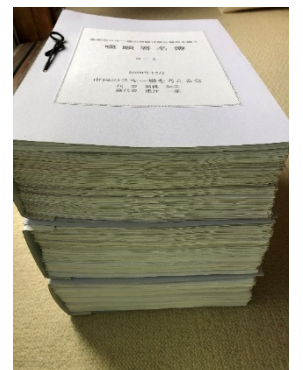
<http://for-uonuma-skiarea.blogspot.com>

### 全国からの賛同は

この度の署名運動では、新日本スポーツ連盟の方や、全国勤労者スキー協議会の全国の仲間からもたくさん、署名をお寄せいただきました。

このことは、「スポーツは文化。スポーツ(スキー)は万人の基本的権利である」というスキー協の誇らしい理念がしっかりと根付いていることの証しだと感じました。国民が、市民が、やりたいと思うスポーツ

(スキー)ができるためには、環境の改善や生活の安定が求められます。国や自治体に環境整備や改善を求めていくことも重要な運動です。雪国にとって、地元のスキー場が果たす役割は非常に大きいです。たとえ訪れることがなくても、またスキーをするしないにかかわらず、また選挙民であるなしにかかわらず、この賛同の意思表示は非常に意味があると思います。皆さまのご支援に心より御礼申し上げます。



### 市民の会へのカンパ

市民の会ではワークショップチラシや署名用紙の印刷代、新聞折込料ほか、多額の経費がかかっておりますが、魚沼スキークラブとして92,200円のカンパをいただきました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました！！

## 新魚沼市長誕生！

11月29日告示、12月6日投開票の市長選挙は、ご存知のとおり新人、内田幹夫氏が当選しました。「市民のスキー場を考える会」の署名活動は、選挙運動とは別のものです。会として選挙にかかわることはできません。ただ、現職市長はスキー場事業者が廃業せざるを得ない条件を出し、交渉に応じてくれず、交渉が頓挫したまま選挙戦に突入しました。スキー場は市長が替わらなければ見込みなしと言わざるを得ない状態でしたので、署名運動終了後、個人として選挙運動に参加しました。どちらの候補に魚沼市の未来を託すかは、一人ひとりの自由な選択です。今回はスキー場問題がある為、スキー場の必要性を認める内田氏が選出されたことで少し見通しがついたと思います。ご支援ありがとうございました！！

スキー場問題は非常に難しい問題で、10年以上、しっかり向き合うことなく先送りされて現在に至っています。魚沼市にとって、スキー場はどうあるのが望ましいのか、市と事業者と議員や市民を交えて、真剣に検討していく必要があると考えます。署名と選挙が終わっても、なんら解決はしていません。今後も関わり続けていかなばならないと考えています。ぜひ、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

## 「市民のスキー場を考える会」の取組みの中で思ったこと

魚沼市 五十嵐清子

令和3年3月31日をもって、魚沼のスキー場運営が困難という状況であることを知って、クラブとして何ができるかと話し合いました。クラブにとってのスキー場、魚沼市にとってのスキー場が果たしている役割について話し合い、なんとしてももう一度スキー場継続を実現させていきたいと、高橋さんが中心になって、熱く熱く関係者に呼び掛けて、「市民のスキー場を考える会」を立ち上げました。

会では、地域(広神、堀之内、小出、湯之谷、守門)ごとにワークショップを開いて、スキー場の価値と存続について話し合いをしました。魚沼市の冬季雇用の場として、観光や地域振興、教育やスポーツ振興の場として、スキーは生涯スポーツとして子どもからシニアまで楽しめる場として、雪資源の活用として大切であると訴える要望書を出したり、署名活動をやってきました。

署名にまわってみて、さまざまな声があったけれど、魚沼市にスキー場は必要という声を多く聞きました。しかし、市長は議会で決めたことだからとか、民間でできることは民間でなどと聞く耳を持ちません。

行政は誰の為に、何の為にあるのだらうとってしまいます。もっと想像力をめぐらすと、市長の姿勢は、自助努力を叫び、公助をしるる国のトップと重なります。

スキー場は魚沼市の宝であり、財産であり、魅力の一つです。スキー場は市の支援なしには運営はできません。もう一度、事業者と市民と市が力を合わせて、スキー場存続の道を開いてほしいと切に望みます。

## 今シーズンも

## 土曜のランチは星の家！

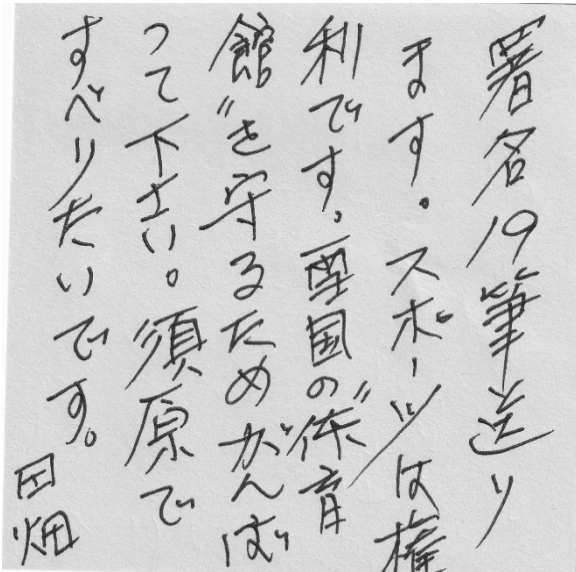
今シーズンも、土曜日は須原スキー場の星の家で一緒にお昼休憩しませんか！ 特に時間は決めていません。お昼頃に行けばクラブの誰かがいる、そんな土曜の会員のたまり場です。

スキーも楽しい！おしゃべりも楽しいね！

**仲間を増やそう！ 友達を誘おう！**  
**一人で滑るより仲間と滑る方がずっと楽しい！**



# 署名と一緒に届いた激励のメッセージをご紹介します



まだまだ他にもたくさんメッセージを頂きました。力強い言葉、うれしい言葉、本当にありがとうございました！ぜひ、須原へお越しく下さい！

## 前略

日頃のスキ協活動拝見しています。雪国でのスキー場は命のようなもの。人々のスキーを楽しむ権利を守り発展させるため頑張ってください。- 昨年 ホームゲレンデ 木曽福島スキー場を守るため 関西からもたくさん人の署名を送って 昨季無事 新会社の運営を楽しむことが出来ました。ちょっと遠くで訪れることができませんが 近隣の方々のため 継続・発展を祈願しております。 京新西山と塩谷

有志による「市民のスキー場を考える会（高橋知子代表）は、魚沼市スキー場の持続可能な財政支援を市に求める署名活動を十月から市内外で行ってきたが、十一月七日には本町のスキーサカキヤ入口で街頭活動を行った。

小出スキー場、葉師スキー場、大湯温泉スキー場、須原スキー場、大原スキー場の五つのスキー場は完全民営化に向けて今年度末で施設などの無償貸与契約が満了し、市からの財政支援が受けられなくなるが、市民のスキー場を考える会ではフリフトや庄雪車のメンテナンス

有志による「市民のスキー場を考える会」は、魚沼市スキー場の持続可能な財政支援を市に求める署名活動を十月から市内外で行ってきたが、十一月七日には本町のスキーサカキヤ入口で街頭活動を行った。

署名は市内の店舗などに署名用紙回収箱を設置したり、市外のスポーツ用品量販店で街頭活動を行うなどして集められており、市内での街頭活動は今回初めて行われた。この日の活動では高橋代表ら会員三人が店の二つの入口に分かれて立ち、「スキー場存続のために署名をお願いします」と買物客に協力を呼びかけた。「スキー場くらいい

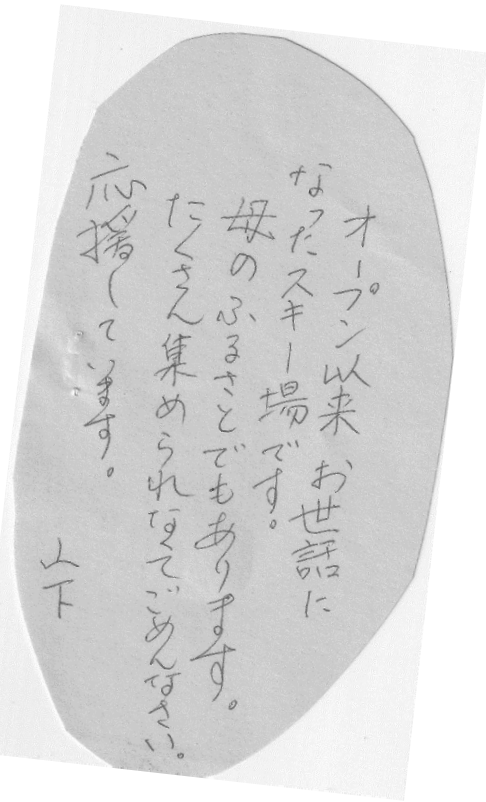
## スキー場の存続を願って考える会が街頭署名活動



11月7日にサカキヤ店頭で行われた街頭署名活動

どもたちのために残していかななくては」と話しながら署名する人の姿も見られ、この日は約二時間の活動で百十二人から署名が寄せられた。

嘆願書への署名は今年二十日まで募集が行われる計画で、市民のスキー場を考える会では今後とも同所で街頭活動を行うことにしている。



# 今シーズンの行事のご案内

待ちに待ったシーズンがいよいよ始まります。

新型コロナウイルスに負けず、今シーズンも各種行事を行います。

参加を予定していなかった方でも参加できます。仲間を誘って、会員以外の友人・知人を誘って、みんなで参加しましょう。楽しい行事になるよう、みなさまのご協力をお願いします。

## 奥只見丸山へ初滑り 12/13(日)

**集合** 9:00 ゆのたに道の駅敷地内の市地域振興センター前

**担当** 佐藤重

◎ 朝、集まった人で乗り合わせて行きます。奥只見丸山スキー場が少雪の為オープンしていない場合は中止とします。



## 県スキー協 新年講習会 1/9(土)

**会場** 須原スキー場

**日程** 9:30 センターハウス前集合 開会式

9:45～11:45 午前講習

11:45～13:00 休憩

13:00～15:00 午後講習 終了後閉会式

**担当** 黒井、酒井 **参加費** 無料

**申込** 1月6日(水)までをお願いします。

◎今シーズンは、新型コロナウイルス感染防止のため、講習後の恒例の新年会は開催しません。



## 基礎スキー教室 1/11(月) 1/18(月) 1/25(月) 2/7(日)

**集合** 9:30 須原スキー場センターハウス前

**日程** 9:45～11:45 講習

**担当** 黒井、高橋

**申込** 1月9日(土)まで

◎ 男性も参加できます( ^ω^ )



## 県スキー協 レベルアップ講習会 1/16(土)

『基礎を固めて応用に活かそう』

～色々なシチュエーションに対応するために～

レベルアップ間違いなし！！

**会場** 須原スキー場

**日程** 9:30 センターハウス前集合 開会式

9:45～11:45 午前講習

11:45～13:00 休憩

13:00～15:00 午後講習 終了後閉会式

**講師** 大越 仁(石井スポーツ長岡店) 須原スキー学校講師

**担当** 高橋、鈴木 **参加費** 無料 **定員** 20名

**申込** 1月9日(土)まで



## 日帰りツアー①in 石打丸山 1/20(水)

**集合** 9:30 石打丸山スキー場  
中央口リゾートセンター

**担当** 佐藤重、渡貫哲

◎ 乗り合わせのための、魚沼方面・長岡方面の各集合時刻等は、改めて幹事からお知らせします。



## 県スキー協スキーフェスタ in 妙高杉ノ原 1/30(土)・31(日)

～昼はレッスンを受けてレベルアップ、夜は仲間と交流～

**会場** 妙高杉ノ原スキー場

**日程** 1/30 9:30 支度を済ませて白銀館前集合、班ごとに出発  
昼休みを挟んで、午前・午後の講習  
指導員研修の方は、夕食前に1時間程度座学を行います。

1/31 7:00 朝食  
9:00 班ごとに出発  
14:00 ポール講習のスタートエリアに集合、閉会式(予定)

**講習クラス** 指導員・上級班 横田 中級班 坂内 初級班 高橋  
ポール班 大塚 不整地班 黒井

**担当** 当クラブの担当 酒井、渡邊、佐野

**参加費** 9,000 円(1泊2食付、講習、リフト1日券付)

**申込** 1月9日(土)まで

## 日帰りツアー②in 神立 2/11(木・祝)

**集合** 9:00 神立スノーリゾート  
グランドベース2階チケット売場前

**担当** 佐藤勇、大家

◎ 乗り合わせのための、魚沼方面・長岡方面の各集合時刻等は、改めて幹事からお知らせします。



## **【注意】感染拡大防止のため、クラブの新年会も中止になりました...**

- 昨今の新型コロナウイルスの再度の感染拡大状況を踏まえ、クラブの新年会を中止します。感染拡大がおさまったら、大いにみんなで交流しましょう。それまでは、辛抱です...

## シーズン券の割引について

昨シーズンの異常少雪を受けて、須原スキー場では昨シーズンのシーズン券を持参すると20%割引をしてくれます。奥只見との共通券は、須原分の20%offです。また、昨シーズンの早割一日券も使えるものがあります。イベントへの協賛品の一日券、サポーターズクラブの一日券は使えません。詳しくは須原 HP で確認してね～

スキー場は昨シーズンの少雪により、大きな痛手を受けました。どうか、私たちのホームグレンデ須原スキー場にお越しく下さい。みんなで少しでも盛り上げて、経営に協力しましょう！

## 熊本豪雨災害への義援金を送りました！

ご報告が遅れましたが、熊本豪雨災害の義援金は魚沼スキークラブとして31,400円を熊本県庁に送りましたのでご報告します。ご協力誠にありがとうございました！！

## 写真や動画などのデジタル素材をご提供ください！

魚沼スキークラブは、故大塚中氏の呼びかけにより1996年1月に大塚山荘(魚沼市守門地域)にて設立総会を開催し、活動をスタートしました。これに先立ち、1995年秋には新潟県スキー協にクラブ設立の届出をしています。

今シーズンは25年目のシーズンとなり、2021年1月には満25周年となります。

25周年を祝い、これまでの活動を記した記念のDVDを制作することが計画されています。

**これまでの活動の様子が分かる写真や動画があれば、ご提供ください。また引き続き、皆さんも写真や動画を撮って、提供して下さい。**(なお写真等は、原則データでお願いします。詳しくは担当にお聞きください)

提供いただける方は、以下のURLにアクセス、動画等をアップロードしてください。

Google フォトの共有アルバム「魚沼スキークラブ活動状況」

<https://photos.app.goo.gl/GdkTFP5vqJ1yhFNk7>

※アップロード方法等、不明な点があれば、お気軽に佐藤までご連絡ください。

担当:佐藤勇・高橋知子

## お得なお二割いだよー「にいがたスキーONI割キャンペーン」

新潟県観光企画課がやってくれます。ウレシイじゃありませんか！

[新潟県冬季観光活性化緊急対策事業](https://niigata-oniwari.jp)

(<https://niigata-oniwari.jp>)

にいがたスキー  
お得な にいがた  
**ONI割**  
キャンペーン  
—鬼のような割引で、鬼のように滑る—

12月下旬に  
キャンペーンサイト及び  
割引クーポン販売サイトが  
オープンする予定です。  
お楽しみに！

**12月下旬スタート！** (予定)

割引対象は県内スキー場の一日券

割引額 最大3500円

対象枚数は40,000枚。

一人あたりの販売枚数に制限あり。

沢山行く人はシーズン券がおススメだって！

シーズン券や早割券は対象外ですぞ(〜)詳しい購入方法は、12月下旬に販売サイトにて。

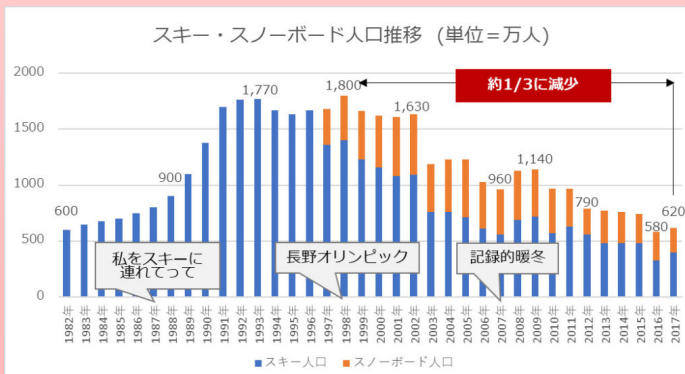
## 「スキーする人って少なくなったよねえ・・・」

ブログ 流転三昧 (<https://rutenzanmai.com/ski-snowboard/ski-snowboard-population/>) より

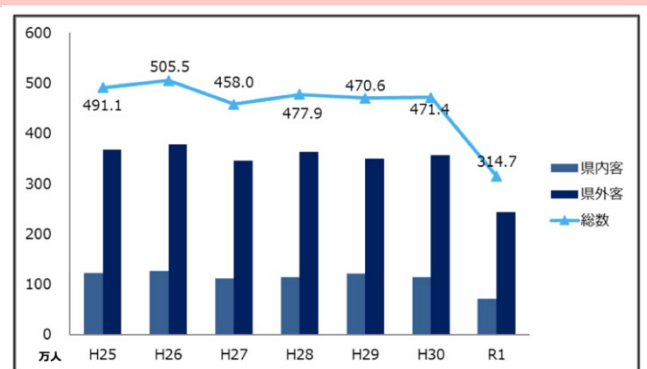
スキー・スノーボード人口は、長野オリンピック以降減りつづけ、ピーク時の1/3となっているようです。でも、最近は横ばいのようなようです。1980年代半ばと同じ水準ですねえ・・・。(図1参照) 筆者は、90年代前半が大学生でしたので、ブーム真っ盛りの頃からスキー場に通うようになり、あの様子が当たり前の中、スキーライフを歩んできました。

リフト待ちもほとんどなくなったし、浮ついた雰囲気もなくなったし、今は、快適なスキーライフですね。唯一、滑る人が圧倒的に減ったせいかな、春先くらいしか、めったに自然コブ群がみられないのが、少し残念ですね。

【図1】



【図2】新潟県内のスキー場利用客数の推移



県内の状況はというと、スキー場利用客数は、近年はほぼ横ばいのようなようです。(図2参照) でも、H15は776万人、H11は1,033万人の利用者があったようです。H11から見れば、半数以下となっているわけです。大きく減らしてますね。市町村別でみると、1位湯沢町220万人、南魚沼市120万人、3位妙高市71万人です。魚沼市は7.8万人だそうです。

スキー・スノボ人口の減少や暖冬小雪など厳しい状況が続いていますが、簡単にスキーができる環境が末長く続くといいですね。

## スキーメイトを読みましょう！



●スガさんはスキー愛好者をスカにしないで欲しい。自助は「自分の頭で考える」、共助は「リスペクト」、公助は「連帯して」と読み替えながら生きてかないと「やってられネ〜!」と思うシーズン前の、今日この頃です。(武田健一)

スキーメイト No.186 より

**「スキーメイト」(年間5冊分)を半額(1,000円)の購読料で読めるキャンペーン 継続中!**

\*今号で新規定期購読を申し込むと、通常の半額1,000円でご購読いただけます。  
\*キャンペーン購読が終了する時点で定期購読に切り替わります。ご案内を致します。ぜひ継続的な購読を!

## 市民のスキー場を考える会



# 1万7千署名

「魚沼市スキー場の存続と持続可能な財政支援」の嘆願署名が魚沼市の人口3万5千人の半分にも迫る、1万7千署名が集まりました！  
沢山のご協力、本当にありがとうございます！  
市長及び議長に提出します。

### 市内スキー場に突きつけられる市からの運営困難な条件

市は、市内スキー場事業者に対し、スキー場施設の『譲渡』受け入れを要求し、譲渡後の初年度は財政支援をするが、以降は財政支援を打ち切るとしています。  
『譲渡』とはスキー場廃業の際、事業者に施設撤去費用を負担させるものであり、その費用は施設の大きいところで1億円以上とも言われ、事業者がとても賄えるものではなく廃業せざるを得ない現状です。

スキー場運営にはお金がかかり過ぎると感じている方もいるでしょう。  
市営時には1億円以上だった財政支出が各スキー場の経営努力により約7千万円まで削減することができます。その7千万円は市の一般会計予算の0.3%未満です。  
また冬期間だけで、約8万人(その内市外の総入込客数約3万人)を超える利用者数があります。こんな施設が市内に他にありませんか。  
そして利用者の方々が地域経済に与える恩恵を失って本当に良いのでしょうか。

スキー場にはまだまだ様々な可能性・活用方法が残っています。  
そして大事な場所だと共感していただいた方々から1万7千もの署名が集まりました。  
冬場の市の代表的な観光・教育資源、そして雇用の場であるスキー場に、その価値を見出しその振興を図れるか、今こそ市の姿勢が問われています。

市民のスキー場を考える会 代表 高橋知子(魚沼スキークラブ) 副代表 櫻井一崇(SEASON)  
事務局 横山正樹 TEL 090-7830-4083

魚沼市内に新聞折込で入れたチラシです。署名数はこの後も増えました。

魚沼スキークラブ シー・ハイル！